

(案内①)

弘 園 け 第 10 号

令和5年9月11日

運営推進会議 関係者各位

社 会 福 祉 法 人 東 京 弘 濟 園

三鷹市高齢者センターけやき苑

所 長 工 藤 正 樹

認知症対応型通所介護「けやきの会」

運営推進会議の開催のお知らせ

拝啓 酷暑の候 ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

当苑の事業につきましては、平素よりご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和5年度第1回「運営推進会議を下記の日程で開催することを計画しております。ご多忙のところ恐縮ではございますが、ご出席方よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日 時：令和5年9月26日（火）13：10～14：30
2. 場 所：三鷹市高齢者センターけやき苑（食堂）
3. 内 容：①令和5年度上半期「けやきの会」事業の実施状況
②認知症対応型通所介護の見学・体験

③質疑応答、意見交換

【問合せ先】 けやき苑

担 当：藤澤、小曾根

電 話：0422-34-5440

F A X：0422-34-6538

* ご出欠の連絡を、9月20日（水）までに FAX または電話にてご連絡ください。

（FAX での返信の場合は、出欠の有無に○印をつけて送信をお願いします）

《 運営推進会議 出欠連絡票 》

9月26日（火）13：10～14：30 の運営推進会議に

・ 出席します

・ 欠席します

令和5年 9月 日

お名前

けやき苑認知症対応型通所介護事業 利用実績等（令和5年度上半期）

資料①

【実績及び利用状況】（令和5年4月～令和5年9月）

＜実施日数＞

4月	5月	6月	7月	8月	9月	*9月は9/15現在迄
24	24	26	25	27	13	

＜登録人数＞

4月	5月	6月	7月	8月	9月	*9月は9/15現在迄
17	16	15	18	21	22	

＜新規受入数＞

4月	5月	6月	7月	8月	9月	*9月は9/15現在迄
0	1	1	4	3	1	

*新規利用者は5月から9月毎月新規利用相談あり利用に繋がっています。7月から9月は登録変更の新規利用者がありました。

*新規利用相談時は一般型を希望され見学にて認知型をご紹介し利用につながる事が多い状況です。今後も認知症対応型通所介護の内容や役割・支援効果について、居宅介護支援事業所のケアマネージャーや地域包括支援センターにも理解を促しながら連携していきたいと思ひます。

＜終了者数＞

4月	5月	6月	7月	8月	9月	*9月は9/15現在迄
2	2	0	1	0	0	

*利用終了者については、施設入所での終了が2名、ご逝去1名、利用辞退1名でした。
（1名は週6回のご利用でした）

＜利用者年齢＞ 平均86.3歳

65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～
0	0	3	4	12	7	0	0

*80歳～94歳の方が多く平均年齢が高くなっています。

*70歳代の方の新規利用2名ありました。初めての介護保険サービス利用です。

＜通所回数＞ 平均2.48回

1回	2回	3回	4回	5回	6回
8	9	6	0	1	3

*登録者20名のうち半数以上が週1～2回の利用。

送り出しが大変だったり、85歳以上で疲れやすい面もあり、曜日増につながっていません。また、認知症状や自宅の様子、介護状況などから毎日通所を希望される方もおり2名が利用中です。

<要介護度別の実利用者数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要介護1	7	7	7	7	10	11
要介護2	1	1	2	3	3	3
要介護3	5	4	3	4	4	6
要介護4	4	4	3	3	3	4
要介護5	0	0	0	1	1	1
合計	17	16	15	18	21	25

*要介護1の身体機能の高い利用者が増え、利用者間の心身機能の差もあるため活動内容にも工夫が必要となっています。

<延べ利用者数、一日の平均利用人数、利用率>

	4月	5月	6月	7月	8月
要介護1	45	49	59	48	70
要介護2	9	13	12	26	36
要介護3	33	23	21	25	26
要介護4	39	42	36	33	22
要介護5	0	0	0	7	4
1日平均人数 (定員12名)	5.2人	5.2人	4.9人	5.4人	6.1人
利用率	43.8%	44.1%	41.3%	45.3%	50.6%

*新規利用者も増えてはいますが、ショートスティやロングスティのご利用もあり、利用率としては低い状況が続いています。

<令和5年9月15日現在の曜日別登録人数> 1日定員12名

	月	火	水	木	金	土
要介護1	6	2	3	3	6	1
要介護2	1	3	2	1	0	3
要介護3	2	3	2	2	1	2
要介護4	2	1	1	1	3	1
要介護5	0	0	0	0	0	1
合計	11	9	8	7	10	8

※令和5年9月15日現在の登録人数は22名です(女性20名、男性2名)
 そのうち入浴サービス利用者は7名、定期的にショートスティ利用しているのは4名です。

けやき苑認知症対応型通所介護「事故・ヒヤリハット報告」 令和5年度上半期（令和5年4月～令和5年9月）資料②

◆事故・ヒヤリハット

発生日時	氏名	場所	事故区分	発生状況	原因分析	再発防止策
05/15 (月) 12:45	81歳 女性 要介護1	1Fロビー TV前の椅子と ソファの間	【転倒】	昼食終了後ロビーに移動し、前を歩いていた他利用者が手前の椅子に腰かけたため隣の椅子に座ろうと方向転換をした際にバランスを崩され、左の臀部～大腿部を下に転倒する。	普段歩行状態が安定している方のため、座る椅子に近い通路から案内し、そばまで付き添わなかった。	①歩きやすいように、出来るだけ広い通路から案内するようにする。 ②普段歩行状態が安定していても、最後まで付き添うようにする。 ③注意散漫なことがあるので、歩行時は付き添い注意する。
09/06 (水) 10:00	88歳 女性 要介護1	けやきの部屋	【切り傷】	活動準備ゴロ卓球を行なうため、机の上に卓球台を設置。職員が準備・組み立てをしている所、ご本人より「もっとネットを張らないと」と、自ら立ち上がってネットのゆるみを直す様子もあった。設置が終わりご本人が右手をあげた際、右前腕の肘の上辺りに3cm程の切り傷を発見。	ネットを張るための(四角に尖った)金属の棒の先端2か所が保護されておらず、そこに当たって切れてしまったと思われる。ゲーム前に有江職員が先端をテープで保護している。	使用前に道具の危険個所を確認すること、自ら動き出すことの多い利用者の動きを念頭に置いて、注意していきたい。

◆苦情

・なし

令和 5 年 9 月 26 日（火）

認知症対応型通所介護活動報告

◎認知症対応型通所介護について

けやき苑では、認知症対応型通所介護のことを「けやきの会」と称しており、1 日の登録利用者数 12 名に対して、職員を 4 名配置しています。

4 名の内訳は、生活相談員 1 名・介護職員 1 名・機能訓練指導員 1 名・看護師（または介護職員）1 名です。

けやき苑の認知症対応型通所介護は一般型通所介護と併設であるため、一般型から認知症対応型へ登録変更をされる方もいらっしゃいます。その際は、職員間で情報や意見を交換しながら、けやきの会でより個別に関わることでその方らしさを活動に反映できるよう、対応します。また、ご本人やご家族の気持ちを尊重しながらスムーズに移行できるように配慮しています。

けやきの会では部屋が固定されている事や部屋に自分の名前があることで、自分の居場所として馴染み、安心して過ごされています。

ご家族のなかには、家事と介護を同時にするようになり、負担を感じておられる方が多いので、密に連絡を取り合うようにしています。連絡ノートを利用し、日々のご様子をご家族にお伝えし、情報交換しています。

必要に応じて電話でも連絡を取り、ケアマネージャーとも情報交換しています。

◎けやきの会では

- ・認知症があっても、住み慣れた地域や環境で安心して在宅生活が続けていけるように支援しています。
- ・認知症に伴う諸症状に考慮し、「できないこと」に捉われるのではなく、「できること」に着目しながら、その方の持っている「ちから」を引き出し、心身の機能の維持や認知症進行の予防に努めています。
- ・馴染みのある環境の中でひとりひとりのペースに合わせて日常生活上の支援を行い、安心して過ごしていただけるようにしています。
- ・利用者同士や職員との関わりの中で、「自分らしく」交流や自己表現が出来るように心がけています。
- ・介護されている方の身体的及び精神的な負担を軽減出来るよう、ご家族と共に考えています。

- ・ 認知機能の低下や身体機能の低下がみられる方もいる一方で、認知機能が保たれ、身体的にも元気な方もいらっしゃるので、活動内容のバランスを考えながら行っています。また、新規の方には、その方のパーソナリティや今の力を早く把握できるように、ご家族からこれまでの生活歴などをお聞きしながら、その方の好きなことや得意なことを活動で反映できるよう工夫しています。
- ・ 体力の低下から、疲労感が見られる方もおり、活動の中でもリラックスし休息できるような過ごし方も考えています。

【1日の流れ】

9:00～10:15	苑到着 健康チェック
10:15～10:45	朝の体操
10:45～11:40	午前の活動
11:40～12:00	休憩 水分補給 トイレ
12:00～13:10	昼食 休憩
13:10～13:30	お昼の体操
13:30～14:30	午後の活動
14:30～	休憩 水分補給 トイレ レクリエーション 静養など

※お帰りのお時間は利用者によって異なります。

最長、9:00～16:30 の滞在時間です。

◎活動内容

その方の持っている力を活かし、楽しく活動しながら自信や意欲が持てるよう色々な活動を行なっています。昔なじみの活動や話題なども取り入れています。

① 体操

⇒身体機能が高い方が多く、昔は卓球が得意だった、バレーボールやリレーの選手だった、など、話も弾みながら運動しています。

「体を動かすと気持ちがいいわね」と、皆さん自然と体が動いています。

② レクリエーション（ボウリング、卓球、輪投げ、ゴルフ、ポケネット、など）

⇒楽しみながら体を動かしています。難しいルールになると理解できないこともあるため、上記のような、比較的分かり易いものを行っています。

③ 頭の体操（計算問題、しりとり、言葉の想起、書字訓練、など）

⇒計算が得意な方も多いので集中して取り組めるものの一つです。その方の特徴を知ることができます。

④ 製作（季節の飾りもの、壁画製作、縫い物、など）

⇒個々の作業能力に合わせ、その方のできる事を行っています。作品が出来上がると達成感があり、「皆でよく頑張ったね、きれいに出来たね」と、お互いに声を掛け合っています。

⑤ 音楽療法・歌

⇒歌は皆さんよく覚えておられます。言葉が出にくい方も歌詞は出るという方も多いです。歌からその時代を思い出したり、季節を感じることができ、話が弾みます。感情豊かに表現できるものの一つです。

⑥ 屋外歩行訓練・外出活動

⇒外に出て季節を肌で感じたり、気分の発散をする事が出来ます。

地域の方達とのふれあいや、歩行訓練にもつながっています。

⑦ 誕生会

⇒毎月、該当の方に合わせた内容で行なっています。

※コロナ禍以前は調理活動なども頻繁に実施していました。

◎課題と感じていること・・・

・各曜日、個々の ADL に差があり、プログラム内容を考えるのに苦慮している

- ・ コロナ禍で活動内容にも制限があり、活動内容がマンネリ化している
- ・ 活動担当職員間でその日を振り返り、けやきの会の利用者について情報や意見を交換する時間がなかなか取れておらず、次の活動に活かすことが満足にできていない
- ・ 認知症に関する職員のスキルアップ不足

三鷹市高齢者センターけやき苑 苑（10/7㍻切）

（ファックス 0422-34-6538）

令和5年度上半期 けやき苑認知症対応型通所介護 運営推進会議

返信用紙

ご記入者名	民生委員
ご意見・ご要望・ご助言等	認知症対応型通所介護（けやきの会）について、制度による制約がある中、工夫して対応している事がよく分かりました。最初の30分しか参加できなかったのですが、課題と感じていることについて、議論できれば良かったです。もし課題について対策など進捗がありましたら共有いただけますと幸いです。この用紙含め、メールやLINEなど、もう少しIT化を進めてみてはいかがでしょうか？

ご記入者名	地域包括支援センター
ご意見・ご要望・ご助言等	運営推進会議のお声掛けをありがとうございました。認知症対応型通所介護（けやきの会）にも参加させていただき、職員の皆さんの温かいご対応に心が和みました。一点、驚いたのは利用率が伸び悩んでいる事です。高齢者の増加とともに認知症の方も増えているため、今後は益々需要が高まるものと思います。ケアマネさんなどへの周知や理解を推進する上では相談や協力もできると思います。大変貴重な社会資源が市民に還元できるよう、一緒に考えていければと思います。最後に開苑30周年、誠におめでとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

ご記入者名	認知症介護に知見を有する者
ご意見・ご要望・ご助言等	期日内にお返事できずすみませんでした。事故・ヒヤリハット件数少ないのは、職員皆様の尽力のたまものと思います。引き続き利用者様が安全に過ごせる様、支援をお願いします。会議に現場の介護職員が参加するのはいかがですか？（当方でも実施し職員の運営に対する意識や他者からの助言によって視点が広がった経験しました。）利用率の向上は地域の皆様にとってサービスの選択肢が増え、安心して地域生活を送れる要素になると思っています。安定した運営がなされる様、職場全体で取り組んでもらい、この運営推進会議の意見も反映していただけたらと思います。